

へいわ ちか 平和への誓い

みなさんにとって「平和」とは何ですか。

あらし せんそう
争いや戦争がないこと。

さべつ ちが みと あ
差別をせず、違いを認め合うこと。

わるくち い えがお
悪口を言ったり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること。

み ちか へいわ
身近なところにも、たくさんの平和があります。

しょうわ ねん ねん がつむいか ごぜん じ ふん
昭和20年（1945年）8月6日 午前8時15分。

みみ ぼくおん はだ や ねつ
耳をさくような爆音、肌が焼けるほどの熱。

ひ ふ た き ち かわも う したい
皮膚が垂れ下がり、血だらけとなって川面に浮かぶ死体。

こ ちのな まえを よ め あ め あ さけ つづ ほはおや
子どもの名前を呼び、「目を開けて。目を開けて。」と、叫び続ける母親。

たった いっぽつ ぼくだん いっしゆん ひろしま はかい かな う つ
たった一発の爆弾により、一瞬にして広島のみちは破壊され、悲しみで埋め尽くされました。

「なぜ、自分は生き残ったのか。」

なかま うしな わたし そうそ ふ い じぶん せ
仲間を失った私の曾祖父は、そう言って自分を責めました。

げんし ぼくだん い の ひとびと こころ ふか きず お
原子爆弾は、生き延びた人々にも心に深い傷を負わせ、

生きていくことへの苦しみをあたえ つづ
与え続けたのです。

あれから78年が経ちました。

いま ひろしま みどりゆた えがお
今の広島は緑豊かで笑顔あふれるまちとなりました。

「生き残ってくれてありがとうございます。」

いのち いま わたし い
命をつないでくれたからこそ、今、私たちは生きています。

わたし
私たちにもできることがあります。

じぶん おも つた まえ あいて きも かんが
自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。

とも み
友だちのよいところを見つけること。

みんない えがお じぶん ちから つか
みんなの笑顔のために自分の力を使うこと。

いま へいわ おも ひと
今、平和への思いを一つにするときです。

ひばくしゃ おも じぶんごと う と じぶん こと ぼ つた
被爆者の思いを自分事として受け止め、自分の言葉で伝えていきます。

み ちか へいわ ひとひとりひとり こうどう
身近にある平和をつないでいくために、一人一人が行動していきます。

だれ へいわ おも みらい ひろしま い わたし
誰もが平和だと思える未来を、広島に生きる私たちがつくっていきます。

れいわ ねん ねん がつむいか
令和5年（2023年）8月6日

こども だいひょう
こども代表

ひろしま しりつうした しょうがっこう
広島市立牛田小学校

ねん
6年

かつおか
勝岡

えれな
英玲奈

ひろしま しりついつか いちひがし しょうがっこう
広島市立五日市東小学校

ねん
6年

よねひろ
米廣

ともる
朋留